

事業内職業能力開発計画

日本アバカス株式会社

1. 経営方針

顧客に対し、IT の価値を提供し、顧客から満足してもらうことが当社にとって最大の喜びである。そして対顧客、対従業員、対株主さらに対銀行、仕入先その他に対する責務を果たすには、“着実な発展を成し遂げること”が最善の道である。

当社では限られた人的資源を最大に活用するため、個々人の能力を開発することに最も力を入れている。

2. 人材教育の基本方針

- (1) 年功・年齢・勤続・学歴等を理由に研修対象者から除外せず、全員が公平に受講できるようにする。
- (2) IBM 認定の資格取得者に対して、IBM のスキルレベル（上級、中級、初級）により3ランクの手当を2年間支給する。
- (3) 潤沢な研修予算を確保し、積極的なキャリア形成の機運を醸成する。

3. 雇用管理に関する配慮

- (1) 年功・年齢・性別・勤続・学歴等を理由とする処遇の撤廃
- (2) スキルの向上に絶えず努力する者に対する処遇を行なう
- (3) 資格取得を奨励し、社員自ら自己啓発の環境作りを目指す
- (4) 職務遂行の能力の評価基準を明確化

4. 従業員のキャリア形成を促進するための各職務能力の明確化

- (1) 職種ごとに人材育成目標を定める
職種は管理（総務・経理・人事）・営業・システムエンジニア
保守サービスとする。
- (2) キャリアのランクにより、研修目的と内容を定める。
- (3) 個人ごとのスキルマップを作成し、育成目標を明確にする。
- (4) IBM の諸研修が主な対象であり、IBM 認定資格の取得を優先目標とする。
ほかにオラクル、シスコ等を研修の対象とする。

5. 従業員のキャリア形成を支援するために事業主が行なう教育訓練

教育訓練体系	職務別構成要素
教育訓練の目的	社員の知識、スキルの向上を目的とする。 業務処理能力の確立 問題解決能力の確立 指導力の確立 管理能力の確立 経営能力の形成
教育訓練の内容	別紙（研修マップを参照）
教育訓練で得られる技能・知識・その他の能力の内容及びレベル	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部下の指導・教育の能力を持ったリーダー ・ 正確でタイムリーな事務作業ができる事務員 ・ プロジェクトマネジメントができるシステムエンジニア ・ コンピュータ機器の保守に必要な知識・技術を持った保守サービス員 ・ 最新の商品知識があり、プレゼンテーション能力がある営業員
教育訓練対象者の要件	別紙（研修マップを参照）
教育訓練の対象者の選定・選抜の方法	訓練対象者の中から希望者全員
教育訓練終了後の能力向上の評価方法	各種資格試験を受験する。 試験がない場合は、評価方法について検討する。